

(一社) 日本印刷学会 第16回紙メディアシンポジウム

「メディアとしての紙の科学と芸術」

メディアとしての紙は和紙やファンシーペーパーに代表されるように視覚や触覚などの身体感覚に訴える美的要素をもち、人間の芸術への創造意欲を掻き立て、パッケージデザインを通して商品の購買意欲を生み出すポテンシャルを秘めています。メディアとしての紙はそこに文字を載せることにより、情報と同時に人間の感情をメッセージとして伝達する機能をもっています。今回は紙の感性機能に焦点をあて“紙の科学と芸術”という紙メディアの原点にある重要な問題を電子メディアとの対比も含め考えようというユニークな企画です。特に若いデザイナー・技術者・研究者の方々と共に紙メディアを大胆に分析的に捉え直そうと考えており、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日 時: 2020年2月7日(金) 10:00~16:40 (懇親会 希望者のみ 16:50 ~18:00)

会 場: 日本印刷会館 2 階会議室 東京都中央区新富 1-16-8【裏面に案内図】

(東京メトロ有楽町線新富町下車5番出口徒歩3分; 日比谷線八丁堀駅A3出口徒歩5分; 築地駅4番出口徒歩5分)

主 催: (一社) 日本印刷学会 紙メディア研究委員会

協 賛: 紙パルプ技術協会、(一社) 繊維学会、(一社) 日本木材学会、(一社) 日本雑誌協会、(一社) 日本画像学会、(一社) 日本写真学会、(一社) 画像電子学会、(公社) 高分子学会、日本出版学会

プログラム

9:30 ~ 受付開始

10:00 - 10:05 開会の辞

10:05 - 10:55 1. 和紙の科学と芸術

和紙には 1400 年以上の歴史があるが、日本人の豊かな感性は各地で使用目的に従い多様な紙製品や工芸品を生み出してきた。これには楮・雁皮・三椏という細長い繊維をきれいに分散させてシートにする技術がもたらされる。和紙製造の根底にある科学と和紙の芸術性や耐久性との関係、そして魅力的な和紙製品を紹介する。

東京藝術大学大学院 教授 稲葉 政満

10:55 - 11:45 2. 紙メディアにおける色彩の科学と芸術

本発表では、東京工芸大学「色の科学芸術センター col.lab」における色彩科学並びに色彩芸術に関する学術研究活動について紹介する。そして、人のこれからのコミュニケーションを支える上で、紙メディアにおける色彩科学と芸術に求められる要件に関して議論を行う。

東京工芸大学 工学部 工学科 准教授 森山 剛

- 昼食休憩 (11:45 - 13:00) -

13:00 - 13:50 3. 紙の出版物、電子出版物に対する消費者の意識・行動の分析

発表者らはここ数年、紙の出版物および電子出版物に対する消費者の意識や行動について調査してきた。本発表では紙の出版物のみを利用する消費者と紙だけでなく電子出版物も利用する消費者とで、紙の出版物や書店、電子出版物に対する意識や行動にどのような差異があるか、紙と電子をどのように使い分けしているかなどを示す。

東京都市大学 知識工学部 教授 渡部 和雄

13:50-14:40 4. 秀英体の一世紀。これまでとこれから。

DNPのオリジナル書体「秀英体」は100年以上にわたり開発を続け、今では印刷のみならずデジタルメディアにも利用を広げている。本発表では、書体がどのように生まれ、進化してきたか、印刷の歴史とともに紹介する他、新たな文字コミュニケーションツールとして開発中の「感情表現フォントシステム」を紹介する。

大日本印刷(株) ABセンター コミュニケーション開発本部 秀英体開発グループ リーダー 伊藤正樹

14:55 - 15:45 **5. ファンシーペーパーの役割における考察：開発の背景と機能**

様々な色や模様、風合いを持つファンシーペーパーは、紙の中でも特別な役割を持つ素材として、我々の生活に慣れ親しんできた。感性を刺激する機能とは何なのか、用途、使用方法、その市場における開発の考え方を解説する。またデジタル化が進む昨今において、今後求められる紙の枠割を、開発の概念や「紙わざ大賞」などから考察してみたい。

特種東海製紙(株) 研究開発本部 開発第二部 部長 内藤 英也

15:45 - 16:35 **6. 紙の未来は明るい!? 12000部が即完売する専門誌『デザインのひきだし』の現場から**

デザイン・印刷・紙・加工の専門情報誌『デザインのひきだし』は、年3回刊行する12000部+αという専門誌としては多い部数にも拘らず発売後即完売を続けている。その読者達はみな紙や紙で作られたものが好き。そしてそれを作ることに大きな喜びを感じ、紙が売れないと言われている時代だからこそ、逆にせっかくだら紙で作るなら面白く、かつ訴求力あるものを作りたいと切磋琢磨している。そんな紙に取組んでいる人達の明るい話題を紹介する。

(株)グラフィック社 編集部 部長 津田淳子

16:35 - 16:40 閉会の辞

16:50 - 18:00 懇親会 (希望者) ※簡単な軽食を用意しております。

定員：120名

参加費： 会員、賛助会社及び協賛団体所属員 = 10,000円、学生・教職員・シニア = 3,000円、会員外 = 12,000円
(参加費、懇親会費は当日、会場受付でお支払願います。)

懇親会費：1,000円 (懇親会 参加希望者のみ)

問合せ先：(一社)日本印刷学会 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館内 電話：03-3551-1808

申込方法：ホームページ上のフォームからお申し込み願います。 HP: <http://www.jspst.org/>

【日本印刷会館ご案内】

